

ごみの分別・減量の啓発

【概要】 ごみの分別・減量の促進に向けた出前講座や見学会を実施

【取組・成果】

- ・ わく湧くお届け講座（市民対象） 3回 39人
実際にごみの見本を活用した分別方法の説明（地域のサロンなどで実施）
- ・ 外国人講座（技能実習生対象） 7回 97人
外国語ポスターを活用したごみ排出方法の説明
- ・ 小学生出前講座（小学4年生対象） 4回 105人
ごみ減量に向けた取組みに関する授業の実施
- ・ Eco落語（中学1年生対象） 2回 250人
食品ロスをテーマにした創作落語の披露
- ・ ビュークリーンおくえつ施設見学会 5回 23人
普段は入ることができないリサイクル施設の見学

【方向性】 対象者の属性やニーズに応じた講座内容の充実による、ごみ分別の必要性及びごみ問題への関心の向上促進



Eco落語



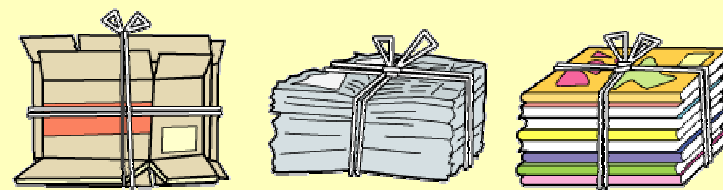
ビュークリーンおくえつ施設見学会

廃棄物関連施策の取組状況(令和7年度)

資源有効利用促進事業補助

【概要】古紙類の集団回収を行った団体に対して1kg当たり6円を補助

【成果】補助団体数 42団体
回収量 163トン（新聞紙・段ボール・その他紙類）
補助金額 981千円



【方向性】新たな活用団体の拡大に向けた制度周知の強化

フードドライブの実施

【概要】家庭で余った未開封の食品を持ち寄っていただき、必要としている方や団体へ届けるフードドライブを実施し、大野市自立相談支援センター、子ども食堂、児童養護施設などへ寄贈

【取組】福井県民生活協同組合と令和3年8月3日に連携協定を締結し、同年12月よりフードドライブを開始

令和5年度：実施回数を年2回から年3回へ拡大

令和6年度：市内スーパーなどの民間事業者と連携し、食品の受付窓口を拡大

令和7年度：バローこぶし通店に常設回収ポストを設置し、
年間を通じて食品を寄付できる体制を整備

【成果】回収重量 : 食品 377.76kg
米 150.7kg

協力事業者：株式会社かじ惣、株式会社芦見屋、越前信用金庫、ニチコン大野株式会社



集まった食品の一部

【方向性】民間事業者との連携強化による食品受付窓口の拡大

廃棄物関連施策の取組状況(令和7年度)

協定・連携先/目的	協定・開始時期	内容	実績
リネットジャパンリサイクル株式会社 使用済小型電子機器等の 再資源化を促進	令和3年12月1日	宅配便を活用した 小型家電リサイクルの取組	 令和6年度 1192.4kg 令和7年度 1432.7kg
株式会社 マーケットエンタープライズ 粗大ごみ等のリユース促進	令和6年9月19日 	不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼 をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依 頼され、買取価格を比較することができる。 手軽に売却できる取組	※申込件数 令和6年度 14件 令和7年度 19件
インクカートリッジ 里帰りプロジェクト ごみの減量や 循環型社会の形成推進	令和7年2月 	使用済みカートリッジを回収する取組 ※「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」とは 地域社会と地球環境に貢献するため、ブラザー、 キヤノン、エプソン、日本HPの4社が協力して、家 庭用インクジェットプリンターの使用済みカート リッジを共同で回収するプロジェクト ※大野市内での回収ボックス設置場所 市役所市民ホール、結とぴあロビー、図書館、 各公民館9箇所	令和6年度 0kg 令和7年度 38kg
ジモティー株式会社 ごみの減量や 循環型社会の形成推進	令和7年10月6日 	不要品を譲りたい方がウェブサイト「ジモティー」を通 して欲しい方とのマッチングができる取組	未確定

新

廃棄物関連施策の数値目標の達成状況

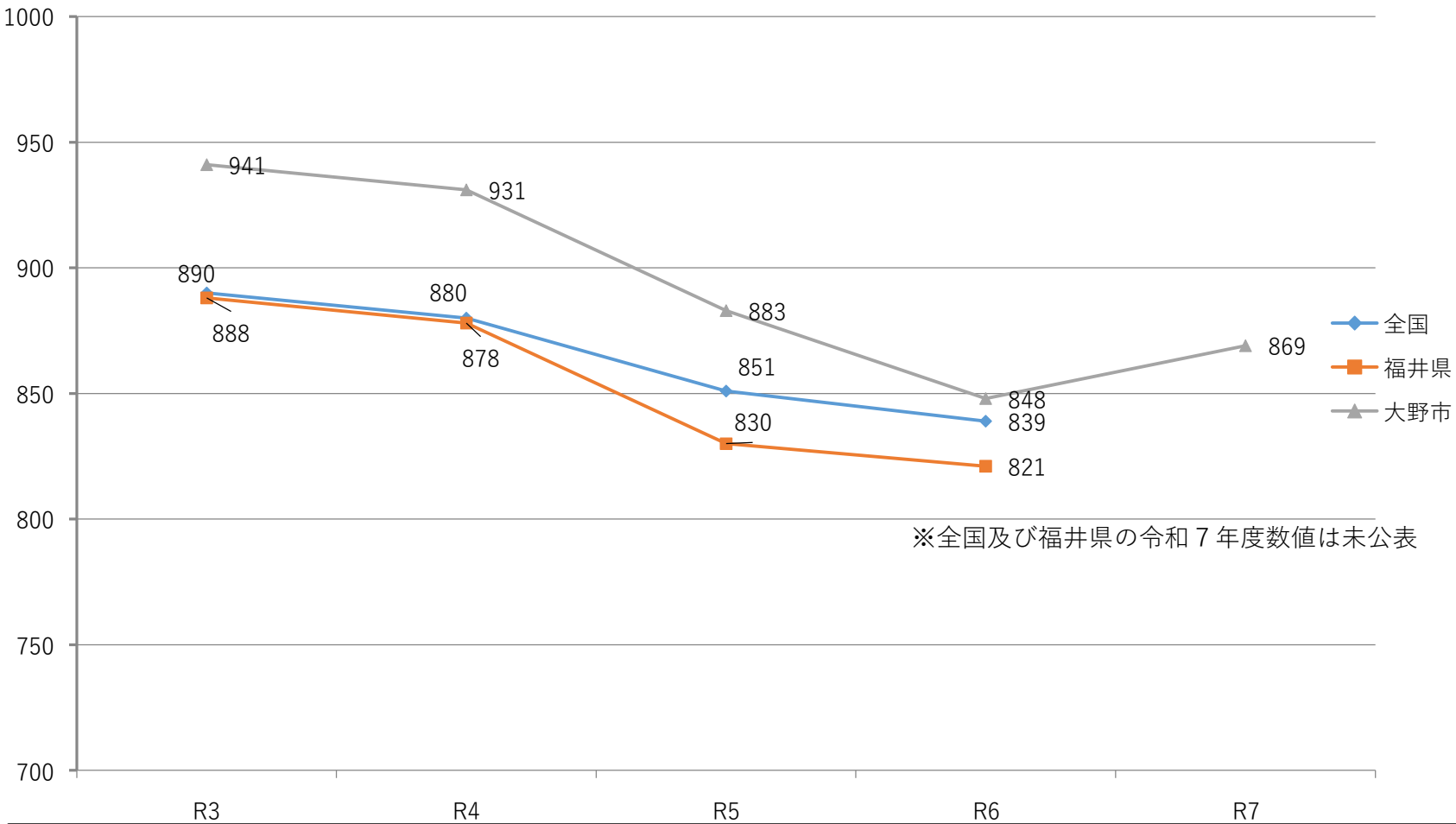
第三期大野市環境基本計画の数値目標（廃棄物関連）

	基準値 R6年度	実績値 R7年度	前年度比 (%)	目標値 R12年度	算定方法
1人1日当たり ごみ排出量	848 g	869 g	+2.5%	828 g	= 年間のごみ総量 ÷ 大野市の人口 ÷ 365日
ごみの資源化率	— (20.1%)	23.3% (19.7%)	— (△2.0%)	31.0% (—)	= (資源化量+集団回収量等+ <u>一般廃棄物処分業許可業者による回収量</u>) ÷ (年間のごみ総量+集団回収量等+ <u>一般廃棄物処分業許可業者による回収量</u>) × 100 ※令和8年2月の環境基本計画改定により、 下線部を算定基礎に追加
食品ロスの発生量	1,028.8 t	602 t	△41.5%	627.2 t	= 可燃ごみ総量 × 厨芥類割合 (大野・勝山地区広域行政事務組合組成調査) × 食品ロス割合 (福井市組成調査)
不要品の再利用 サービスの 市民の利用件数	14件	33件 (累計)	+135.7%	100件 (累計)	= 「おいくら」「ジモティー」の 利用件数(累計)

廃棄物関連施策の数値目標の達成状況

1人1日当たりごみ排出量の推移

【単位：g】



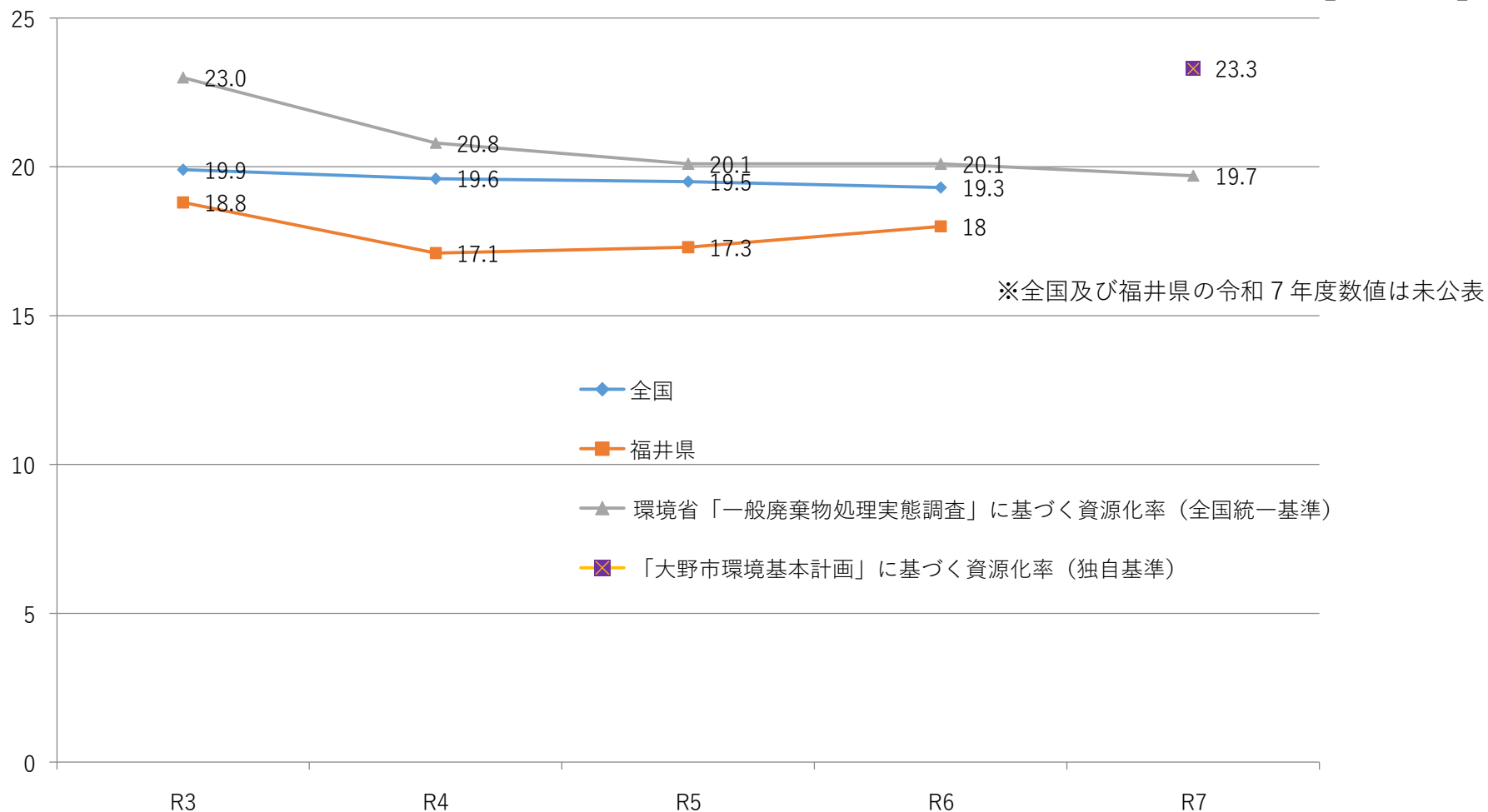
【説明】

- 令和3年度から令和6年度にかけては減少傾向で推移した。これは、施策の効果による市民のごみ減量意識の浸透に加え、ペーパーレス化の進行や物価高による消費抑制が寄与したものと考えられる。
- 一方、令和6年度から令和7年度にかけては増加に転じた。これは、雪害による家屋等の片付けに伴うごみの排出増加や、空き家整理に伴うごみの増加が影響したことが主な要因と考えられる。

廃棄物関連施策の数値目標の達成状況

ごみの資源化率の推移

【単位：％】



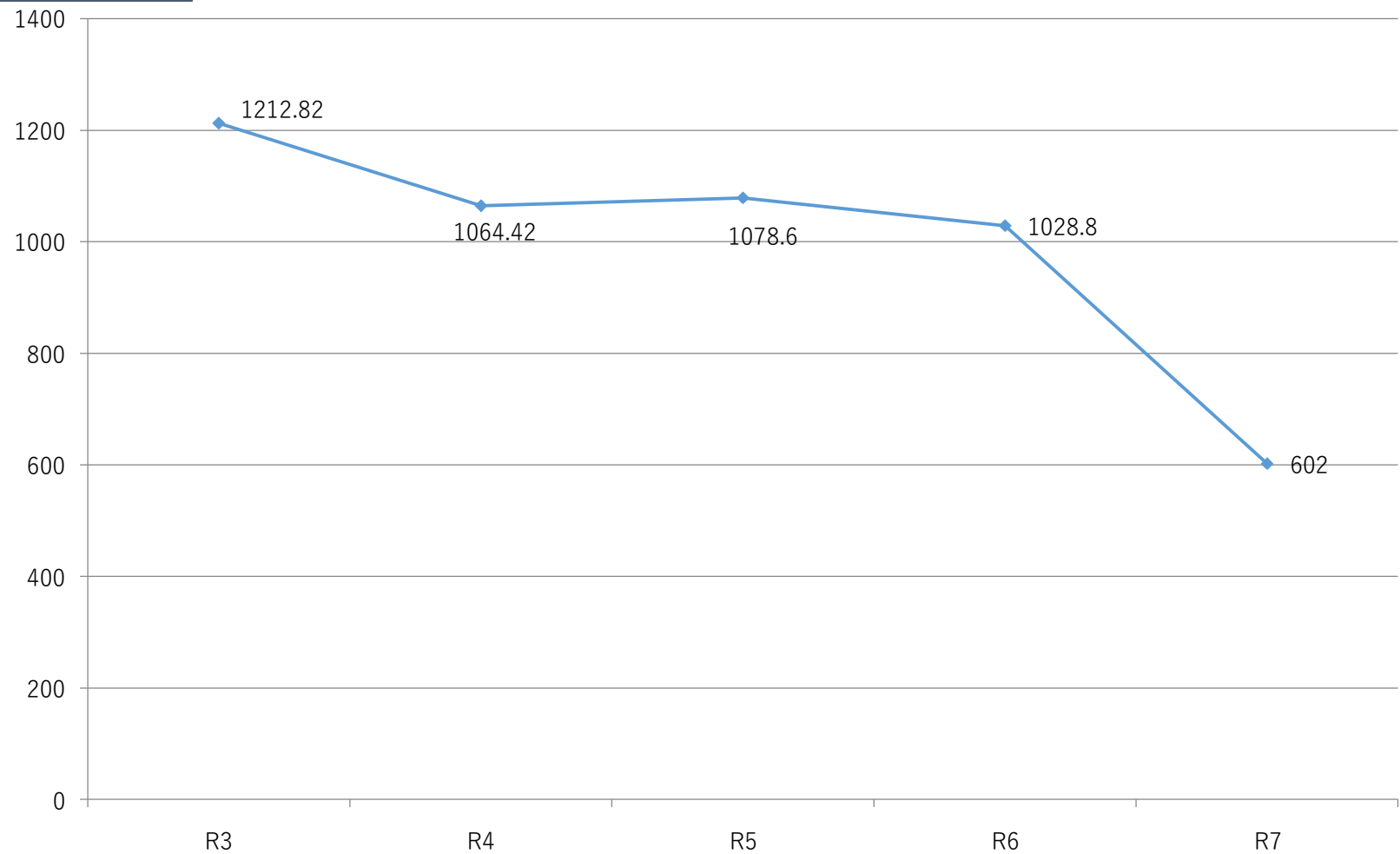
【説明】

- 令和3年度から令和7年度にかけては減少傾向で推移した。これは、新聞・各種配布物のデジタル化が当初想定を上回るペースで進んだことにより、資源化量のうち紙類が継続的に減少したことが主な要因と考えられる。
- 令和8年2月の大野市環境基本計画改定に伴い、令和7年度からは「一般廃棄物処分業許可業者による回収量」を含めた資源化率も算定し、環境省基準値による実績値と併せて進捗を管理する。

廃棄物関連施策の数値目標の達成状況

食品ロス量の推移

【単位：t】



【説明】

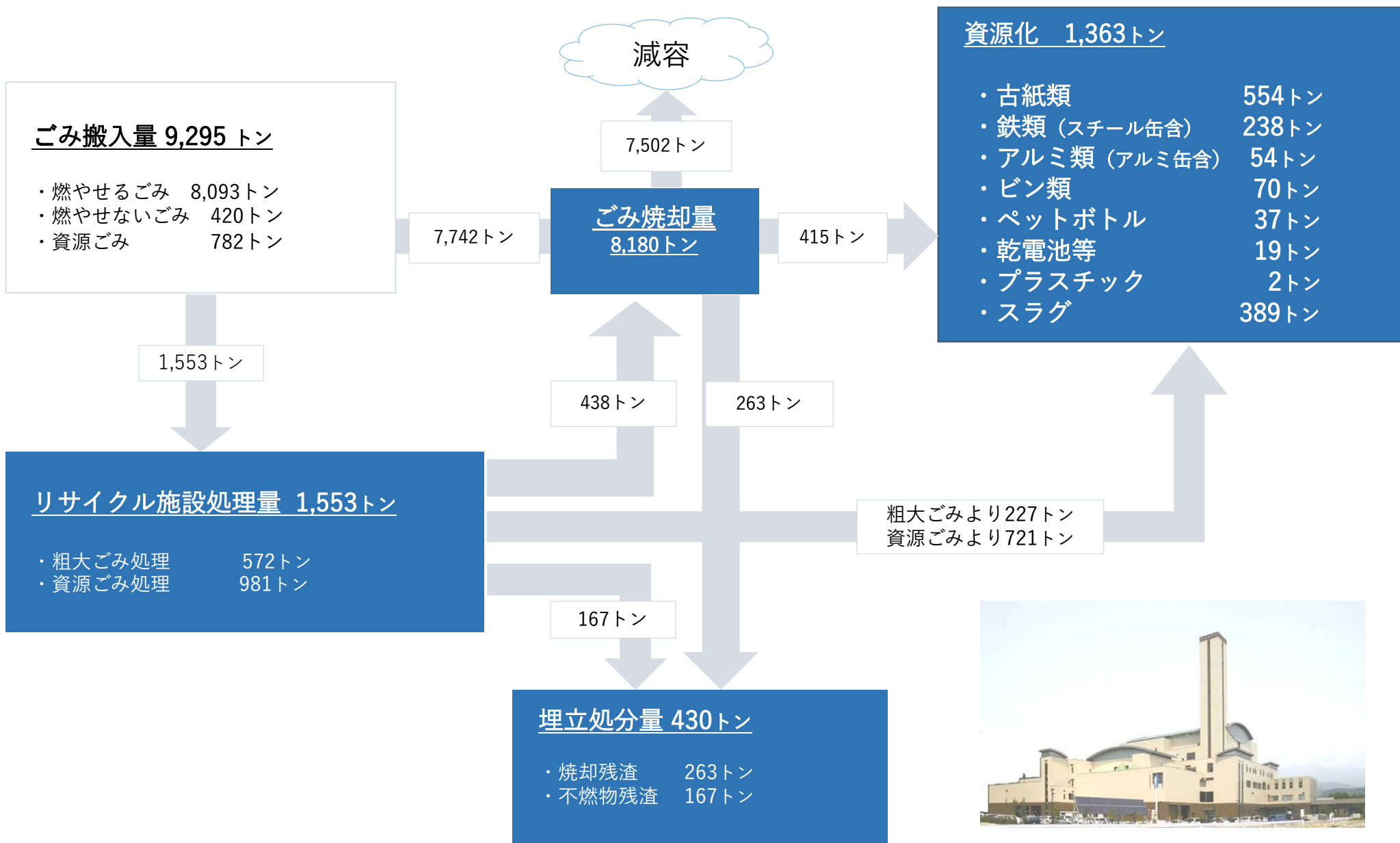
令和6年度から令和7年度にかけて実績値が減少した要因として、物価高による消費抑制や施策の効果による市民意識の浸透により、ビュークリーンおくえつへ排出される厨芥類（生ごみ等の食品系ごみ）の排出量が減少したことに加え、算定の基礎となる福井市のごみ組成調査における食品ロス割合が低下したことが考えられる。

廃棄物関連施策の数値目標の達成状況

不要品の再利用サービスの市民の利用件数

	おいくら	ジモティー	利用件数
取組開始年度	令和 6 年度（9月）	令和 7 年度（11月）	
特徴	不要品を売りたい人が一度の入力で複数の買取業者の査定額を比較し、手軽に高値で売却できるリユースマッチングプラットフォーム	地元の人同士をつなぎ、不要品の譲渡・売買や地域情報の交換を無料で行える地域コミュニティプラットフォーム	
対象	再販価値の高い物品	ごみとして排出予定の再販価値の低い物品のうち、まだ使えるもの	
市民の利用件数実績	令和 6 年度 14件 令和 7 年度 19件 累計 33件	令和 6 年度 –（取組開始前） 令和 7 年度 未確定（R8.10頃確定）	令和 6 年度 14件 令和 7 年度 19件 累計 33件

【参考】ごみ処理工程ごとの関連数値(令和7年度)



リチウムイオン電池等の 小型充電式電池を回収しています

破損・膨張した
電池も対象



回収場所

※施設開庁・開場時のみ

- ①大野市役所（環境・水循環課）
- ②和泉地域交流センター
- ③ビュークリーンおくえつ（1階 管理事務所）

- ▶ **ごみステーションには出さないでください。**
- ▶ 縦横高さの合計が1mを超えるもの、または重さが10kg以上のものは、**「③ビュークリーンおくえつ（1階 管理事務所）」**に持ち込んでください。



回収対象

小型充電式電池



リチウムイオン電池



ニッケル水素電池



ニカド電池

画像引用元：一般社団法人JBRC

小型充電式電池が取り外せない製品

- ▶ **無理に分解せず、製品のまま持ち込んでください。**



モバイルバッテリー

ワイヤレスイヤホン



ハンディーファン

ゲーム機



電動ハブラシ

電動シェーバー



など

【問い合わせ先】

大野市くらし環境部 環境・水循環課

大野市天神町1番1号（1階 11番窓口） ☎ 0779-66-1111（代表）／0779-64-4828（直通・平日）

詳細はこちら▶
（大野市ホームページ）



➡ 出し方

ビニールテープまたはセロハンテープを端子部分に貼って**絶縁**をしてください。



絶縁した電池



液漏れした電池の出し方

- ▶ 可能な限り**電池を使い切ってから持ち込んでください。**
- ▶ **膨張した電池や液漏れ・ガス漏れした電池**は危険なため、**端子部分を絶縁し、必要に応じてビニール袋に包んだうえで金属缶に入れて持ち込んでください。**

✕ 回収対象外

・ 事業活動（会社、店舗、工事現場、農業等）で使用したもの

- ▶ 産業廃棄物処理業許可業者にご相談ください。



産業廃棄物処理業
許可業者一覧

・ 加熱式たばこ

- ▶ 販売店または日本たばこ協会の回収店にご相談ください。



日本たばこ協会
ホームページ

・ スマートフォンやタブレット

- ▶ 販売店にお持ちください。
ただし、**内部の電池が膨張している場合は回収対象**です。



大野市ホームページ
家庭用パソコン処分方法

・ ノートパソコン

- ▶ 販売店またはメーカーに依頼してください。
宅配回収サービス「リネットジャパン」もご利用いただけます。

・ 乾電池・ボタン電池

- ▶ 充電式ではないため、回収対象外です。
絶縁をして、特殊ごみの日にごみステーションに出してください。



小型充電式電池を誤ってごみステーションに排出すると、ごみ収集車やごみ処理施設で火災が発生するおそれがあります。



火災や事故を防ぐため、回収場所への持ち込みにご協力をお願いします。